

令和8年度 桜中学校グランドデザイン

本県の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

【学園教育目標】

夢をもち、自立して社会に貢献する児童・生徒の育成

【本校教育目標】

大志と信念をもち やさしく たくましく
しなやかに生きる生徒の育成

本市の目指す学園・学校像

- みんなが幸せを実感できる学園・学校
- 「教え」から『学び』へ
 - 「管理」から『自己決定』へ
 - 「認知能力偏重」から
『非認知能力の再認識』へ

めざす生徒像

- ・自己の可能性に挑戦する生徒
- ・感謝の気持ちを大切に行動する生徒
- ・新たな時代を切り拓く生徒

めざす学校像

- ・生徒が成長できる学校
- ・教師が人間力を磨き続ける学校
- ・保護者や地域から愛される学校

めざす教師像

- ・人間力向上を目指し学び続ける教師
- ・相手の気持ちに寄り添える教師
- ・互いに支え磨き合える教師

経営の理念

生徒の成長と学校に関わる全ての大人に幸せを

経営の基調

時を守り、場を清め、礼を正す

組織目標

●自分の可能性を追及できる教育活動の実践(指導力向上)

共に 学ぶ

確かな学力の向上

- ◆個性や興味関心に応じた指導の工夫や改善
- ・生徒が自分の成長を実感できる授業
- ・探究型及び課題解決型授業の充実
- ・ICT機器を活用した個別最適な学び
- ・対話を通じて養う合意的形成力
- ・「教えられる授業」から「自らが考える授業」へ
- ・外部人材や地域資源の活用
- ・系統性を生かしたキャリア形成

共に 磨く

豊かな人間性の育成

- ◆主体性を育み、自分たちでよりよい生活へ改善しようとする意識や態度
- ・互いに認め合い、支え合い、高め合う学級経営
- ・「考え、議論する」道徳授業の積み重ね
- ・自治的能力や社会力の育成
- ・教育的ニーズを意識した特別支援教育
- ・人権意識を育てる環境整備
- ・生徒会、実行委員会制度の進化と充実
- ・クリティカルな視点から生まれる改善策

共に 鍛える

健康増進と体力の向上

- ◆自分の命を自分で守る積極的な取組
- ・積極的な生徒指導の推進
- ・自己判断力を育てる防災教育
- ・『命』を大切に教育
- ・SOSの出し方に関する教育
- ・共に見て、触って、揺らして確認する安全点検
- ・不登校生徒の居場所の確保(校内フリースクール)
- ・食育の推進(重要性の啓発活動)
- ・部活動の充実
- ・災害等への対応能力の育成
- ・緊急時に備えた避難所設営経験

共に 育てる

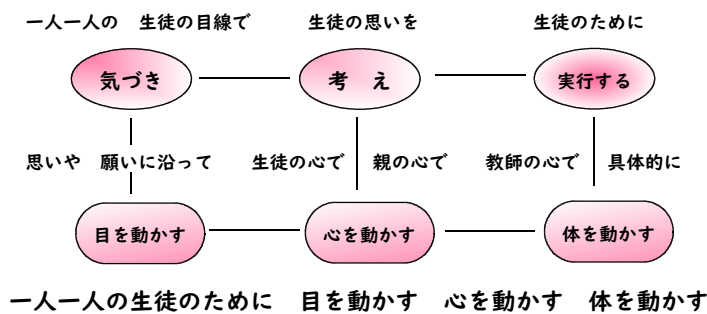
家庭・地域との連携

- ◆地域に愛され信頼と活力を育む学校づくり
- ・コミュニティ・スクールの実施
- ・地域と共に歩む桜中の創造
- ・地域の教育資源の積極的な発掘と活用
- ・防災、減災を意識した地域の灯台としての役割
- ・小中一貫教育の充実
- ・9年間を意識した規範意識の醸成(ルールメイク)
- ・いじめゼロフォーラムの公開
- ・地域総合防災訓練の実施
- ・職場体験学習での地域連携

学び高め合う教師集団

- ◆人間力の向上と学び続ける教師
- ・授業改善に努める授業研究とOJT研修の推進
- ・Sルーム、SC、SSW等との緊密な連携
- ・チーム桜を意識した校務の運営
- ・コンプライアンス意識の高揚につながる同僚性の構築
- ・外部研修への積極的な参加

学校経営のキーワード



働き方改革の推進

- ◆ゴール設定の確認とタイムマネジメント意識改革
- ・プロアクティブな生徒指導
- ・授業力の向上
- ・地域と学校の協働活動による部活動
- ・新たに創造する桜中型カリキュラムマネジメント
- ・対時間効果と生徒目線を意識した業務内容の改善

令和8年度 教育活動スローガン

挑戦・感謝・創造

ドラマチック桜70

一人一人が 自分だけの可能性を追及し、共に成長できる桜中～70年から新たな歴史の創造～

学園研究テーマ

自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成
～ 主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して ～